本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

80件の電話番号/スケジュール記憶/8桁計算
ワールドタイム/アラーム/タイマー/ストップウオッチ

1476

取扱説明書

1476

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■本機の特長

- 電池が消耗しても、入力したテレメモやスケジュールデータが保持されるメモリー（EEPROM）を使用しています。
- **ELバックライト**…暗いところでもボタン１つで表示を明るく照らします。また、スケジュールやアラームなどの報音タイミングに合わせて、ライトが点灯します。
- **テレメモ**…「名前８文字、数字12桁」のデータを最大80件*まで記憶できます。
- **スケジュール**…「月日時刻と11文字までのメッセージ」を最大80件*まで記憶できます。また、今週／来週にあるスケジュールを予告表示します。セット日時になると、音を鳴らして知らせます。

*メモリー件数は、テレメモ、スケジュールを合わせて最大80件までです。

- その他、世界25都市（海上地域を含む）の標準時刻および、世界標準時（GMT）との時差がわかる**ワールドタイム**をはじめ、８桁計算機能、**時刻アラーム**、**時報**、**タイマー**、**ストップウオッチ**機能が付いています。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告



本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。



■データの保護について

●本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー(EEPROM)を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。
・本体を分解したとき
・故障・修理のとき
・極度の静電気や衝撃を与えたとき
・極端な外的環境下(特に低温下)で使用したとき
・電池交換の方法をまちがえたとき

●「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、特に重要なデータについては必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに控えておく」などして控えを残しておいてください。

※付属の備忘録を利用すると便利です。

〈お願い〉
電池が消耗すると、"BATT.!"マークが表示され、メモリーしたデータを見ることができなくなります(30ページ参照)。"BATT.!"マークが表示されるときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンター(裏表紙に記載)にお申し付けください。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

目 次

安全上のご注意
データ保護について ——— 3
操作のしくみと表示の見方 ——— 4
ライト点灯について ——— 6
メモリーについて ——— 7
文字・数字の入れ方 ——— 8
テレメモの使い方 ——— 9
スケジュールの使い方 ——— 12
計算機能の使い方 ——— 16
ワールドタイムの使い方 ——— 18
アラームの使い方 ——— 21
タイマーの使い方 ——— 22
ストップウオッチの使い方 ——— 23
時刻・カレンダーの合わせ方 ——— 24

製品仕様 ……27
ご使用上の注意 ……28
お手入れについて ……29
電池交換について ……30

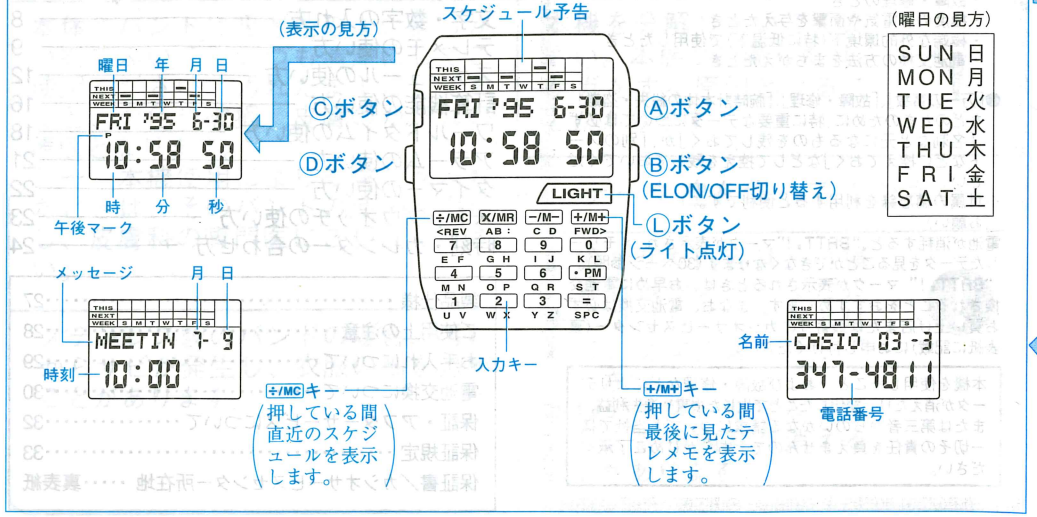
1 操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

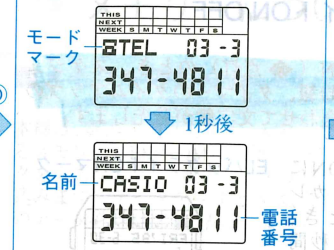
※テレメモ、スケジュール、アラーム、タイマーの各モードでは、それぞれの表示のまま2～3分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

※モード切り替え時の操作確認音の有無は17ページ「操作確認音のON／OFF」を参照してください。

時刻・カレンダーモード

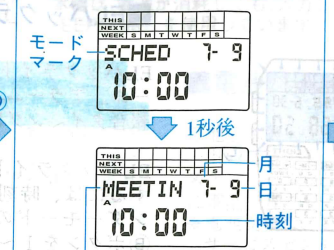


テレメモモード



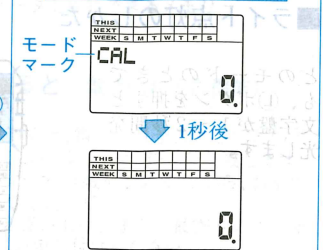
☞ 9ページ参照

スケジュールモード



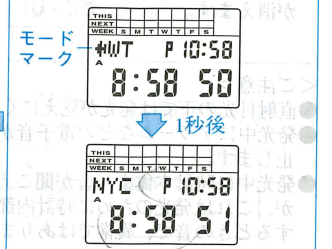
☞ 12ページ参照

計算モード



☞ 16ページ参照

ワールドタイムモード



☞ 18ページ参照

アラームモード



☞ 21ページ参照

タイマーモード



☞ 22ページ参照

ストップウオッチモード



☞ 23ページ参照

ライト点灯について

■ライト点灯のしかた

どのモードのときでも、Ⓛボタンを押すと文字盤が１～２秒間発光します。



※文字盤発光中にⓁボタンを押すと、その時点から引き続き１～２秒間発光します。ただし、Ⓛボタンを１～２分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。

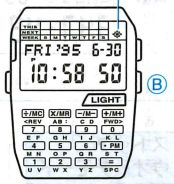
＜ご注意＞
- ●直射日光の下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

■ELバックライトON/OFF

ELバックライトON（✥点灯）のとき、スケジュール、アラーム、時報、タイマーのタイムアップの報音タイミングに合わせて文字盤が発光します。

ELバックライトONにするには、時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを１～２秒間押し続けます。（確認音が鳴り“✥”が点灯します）

ELバックライトONマーク



※もう一度同じ操作をすると、“✥”が消えてELバックライトOFFになります。

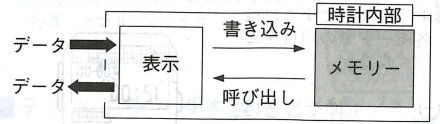
＜ご注意＞
- ●電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがありますが、故障ではありません。
- ●オートリピートタイマー（23ページ）時のタイムアップでは、文字盤が発光しません。

2 メモリーについて

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。

■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



■保持されるデータ

以下のデータは電池が消耗されても消去されません。
- ・テレメモ…… 名前／電話番号
- ・スケジュール…… メッセージ、月／日／時／分
- ・ワールドタイム… サマータイムの有無

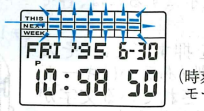
※各モードのデータについて詳しくは各機能の項目をご覧ください。

■電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、電池切れ予告としてどのモードのときでもスケジュール予告がすべて点滅します。スケジュール予告がすべて点滅を始めましたら、お早めに電池交換を行なってください。

※電池交換は、必ずお買い上げ、または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

スケジュール予告



（時刻・カレンダーモードのとき）

電池切れ予告中にデータ呼び出し、入力などの操作を行なうと、“BATT.！”表示後、空ページ表示となります。このとき、データ呼び出し、入力などの操作はできなくなります。（30ページ参照）

“BATT.！”表示



（テレメモモードのとき）

3 文字／数字の入れ方

データセットのとき、入力キーで簡単に文字や数字が入れられます。

■文字入力について

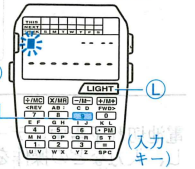
テレメモの名前部、スケジュールのメッセージ部に文字が入れられます。
※入力できる文字は、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、－（ハイフン）、.（ピリオド）、：（コロン）、およびスペース（空白）です。

●文字の入れ方

(1) 各モードでセット表示にします。
※セット表示にするには、各モードでの項目をご覧ください。

(2) 入力キーを押すごとに、そのキーに印刷（あるいはキー下部に印刷）されている文字が順番に表示されます。

〈テレメモセット表示〉



例）9 キーを押すごとに

I → J → 9 → I →…

（入力キー）

※ハイフンは −/− キー、ピリオドは • PM キー、コロンは X/MR キー、空白は = キーを押します。

(3) キーを押して使いたい文字が表示されたら、Ⓛボタンでセット箇所を右の桁に移動させます。
※Ⓓボタンを押すと左に移動します。

(4) (2)～(3)の操作をくりかえします。

■数字入力について

テレメモの電話番号部、スケジュールの月日時分およびアラーム、タイマー、時刻・カレンダーに数字が入れられます。
※入力できる数字は、0～9、－（ハイフン）、スペースです。

●数字の入れ方

(1) 各モードでセット表示にします。
※セット表示にするには、各モードでの項目をご覧ください。

〈スケジュールセット表示〉



(2) 入力キーを押すごとに、そのキーに印刷されている数字が表示されます。

☞キーを押して数字を表示させると、自動的にセット箇所（点滅）が右の桁に移動します。

※間違えたときは、Ⓓボタンを押してセット箇所を左に移動させます。

4 テレメモの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓボタンを押してテレメモモードにします。

■テレメモ機能について

テレメモモードでは「名前８文字、数字12桁」のデータを最大80件（テレメモとスケジュールの合計で80件）まで記憶できます。

●メモリー残り本数／使用量表示

テレメモモードのとき、

= キーを押します

押している間、メモリー残り本数、テレメモおよびスケジュールのデータ数を表示します。



■テレメモデータを探す

テレメモモードのとき、

+/M+ キーを押します

押すごとにテレメモデータが順番に表示されます。
※ ÷/MC キーを押すと逆方向に進みます。
※いずれもキーを押し続けると早く進みます。



〈参考〉

+/M+ 、÷/MC キーの下に印刷されている「FWD▶」「◀REV」の意味は以下の通りです。
「FWD▶」…FORWARD（進む）「◀REV」…REVERSE（戻る）

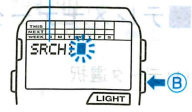
●インデックスサーチ

名前の頭文字を選ぶと知りたいデータが表示される機能です。

(1) テレメモモードのとき、

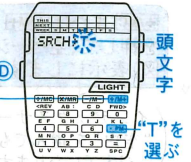
Ⓑボタンを押します

→インデックスサーチ表示になります。



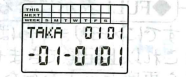
(2) 入力キーで名前の頭文字をを選びます

※選べる頭文字は１文字となります。



(3) +/M+ キーを押します

→その頭文字の先頭にあるデータの名前と電話番号が表示されます。



※該当データが入力されていないときは“NODATA”表示となります。
このときはⒷボタンを押すとテレメモードに戻ります。

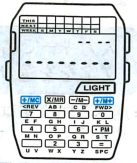
・同じ頭文字で複数のデータがあるときは、先頭データ表示後、[+/M+]キーを押してデータを進めてください。
・インデックスサーチで頭文字を選んだあとに[÷/MC]キーを押すと、その頭文字の末尾（最後）のデータを表示します。
・空白（[=]）を選んで[+/M+]を押すと、空ページが表示されます。

■テレメモデータ入力

(1)データ選択

[÷/MC]または[+/M+]キーを押して、空ページ(右図)表示にします

(空ページ)



（インデックスサーチで“空白”を選んでも空ページ表示になります。）

◆FULL表示になるときは…

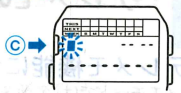
すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。

テレメモを消すとき ——→11ページ参照
スケジュールを消すとき ——→15ページ参照

(2)セット表示にする

Ⓒボタンを押します

名前部１桁目



→名前部の１桁目が点滅します。

(3)名前を入れる（８文字まで）

８ページ「●文字の入れ方」を参照して名前を入力します。

〈名前部入力上の注意〉

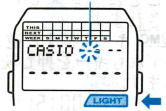
アルファベットのO（オー）を数字の０（ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を使うと正しく並び替え（「自動ソート」参照）されませんのでご注意ください。

(4)電話番号を入れる（12桁まで）

名前部入力後、

Ⓛボタンを押して電話番号セット表示にします

電話番号１桁目



８ページ「●数字の入れ方」を参照して電話番号を入れます。

★続けて他のデータを入力するときは…

１件のデータ入力後、[+/M+]または[÷/MC]キーを押すと、自動ソート*を行なった後、空ページ（新規セット）表示となりますので、(3)～(7)の操作をくりかえし行ないます。

(自動ソート表示)



*自動ソート　メモリーされたデータは名前部の先頭から比較し、自動的に整理されます。

(5)すべての入力が終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

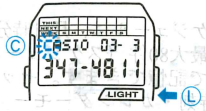
※セット表示のまま２～３分すると自動的にテレメモードに戻ります。
※テレメモモードのまま２～３分すると自動的に時刻カレンダーモードに戻ります。

■テレメモデータ修正

準備：データ入力時と同様に修正したいテレメモデータのセット表示にします。

セット表示のとき、

Ⓛボタンで点減を移動させ、正しく入れ直します



※データ修正後、Ⓒボタンを押します。

■テレメモデータ消去

準備：データ入力時と同様に消したいテレメモデータのセット表示にします。

セット表示のとき、

Ⓑボタンを約２秒間押します



→確認音が鳴り、その名前に入力されているデータが消去されます。

※データ消去後、Ⓒボタンを押します。

5 スケジュールの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓボタンを２回押してスケジュールモードにします。

■スケジュール機能について

スケジュールは、月日時分とメッセージ（最大11文字）を最大80件（スケジュールとテレメモの合計で80件）まで記憶できます。セットした日時になると電子音（時刻・カレンダーモードではメッセージも同時に表示）で知らせます。

※日付が更新されると、そのときまでに過ぎ去ったスケジュールは自動的に消去されます。（スケジュール自動消去）



●メモリー残り本数／使用量表示

スケジュールモードのとき、

[=] キーを押します

押している間、メモリー残り本数、テレメモおよびスケジュールのデータ数を表示します。

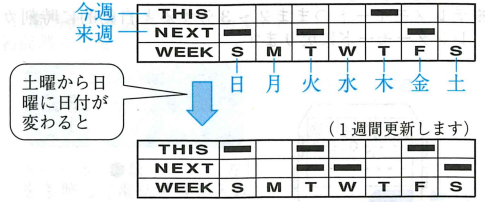


■スケジュール予告機能

時刻・カレンダーモードでは、当日を含めたその週（日曜～土曜）と次の週（日曜～土曜）の２週間分のスケジュールの有無を表示します。スケジュール当日になると該当のマークが点滅し、スケジュールがあることを知らせます。

※なお、カレンダーが新しい週になる（土曜→日曜）と、スケジュール表も１週間更新されます。

★表示例〈時刻・カレンダーモード〉
今週は木曜、来週は日曜、火曜、金曜にそれぞれスケジュールがある場合は以下のような表示になります。



※なお、電池が消耗すると、すべてのスケジュール予告表示が点滅します。このときはお早めに電池交換を行なってください。（30ページ「電池交換について」参照）

■スケジュールデータを探す

スケジュールモードのとき、

[+/M+] キーを押します

押すごとに入力したデータが日付順に表示されます。



※ [÷/MC] キーを押すと逆方向に進みます。
※いずれもキーを押し続けると早く進みます。

■アラーム音を試しに聞く

スケジュールモードのとき、

Ⓑボタンを押し続けます

→Ⓑボタンを押している間、電子音が鳴ります。

■スケジュールの報告方法

●スケジュールセット当日になると

スケジュール予告の該当マークが点滅して知らせます。

●スケジュールセット時刻になると

電子音が20秒間鳴り、セット日時であることを知らせます。時刻・カレンダーモードでは、電子音が鳴っている間、メッセージも同時に表示されます。



報知されたメッセージは、日付が更新されると自動的に消去されます。ただし、セットしたスケジュールをプロテクトデータ（14ページ参照）にした場合は、日付が更新されても消去されず、１年後のスケジュールとして再登録されます。

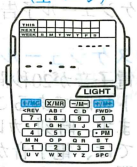
★鳴っている電子音を止めるには
ⒶⒷⒸⒹおよび入力キーのいずれかを押します。

※時刻・カレンダーモードでは、電子音を止めてもメッセージは20秒間表示されます。メッセージを止めるには、電子音を止めてからもう一度ⒶⒷⒸⒹおよび入力キーのいずれかを押します。

■スケジュールデータ入力

(1)データ選択

÷/MC または +/M+ キーを押して、空ページ(右図)表示にします



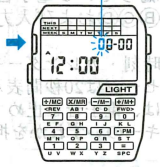
◆FULL表示になるときは…

すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。

スケジュールを消すとき——→15ページ参照
テレメモを消すとき——→11ページ参照

(2)セット表示にする

Ⓒボタンを押します

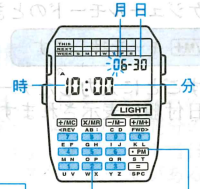


→月(10月台)が点滅します。

(3)月日時分を入れる

8ページ(●数字の入れ方)を参照して月日時分を入れます。

例)"6月30日10時"は、「06301000」と押します。



★午前／午後切り替え

時分が点滅しているときに • PM キーを押します

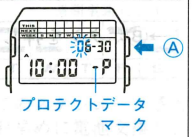


→押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。

※現在表示を24時間制にしているときは、24時間制で表示されます。

★誕生日や記念日をセットするときは…(プロテクトデータセット)

スケジュールセット表示のときにⒶボタンを押します



→"-P"が点灯し、日付が更新されても消去されないプロテクトデータとなります。

※もう一度Ⓐボタンを押すと"-P"が消えます。

(4)メッセージを入れる(11文字まで)

月日時分を入れると、メッセージ1桁目が点滅します。メッセージは、8ページ「●文字の入れ方」を参照して入れてください。



★続けて他のデータを入力するときは…

1件のデータ入力後、+/M+ または ÷/MC を押すと自動ソート*を行なった後、空ページ(新規セット)表示となりますので、(3)～(4)の操作をくりかえし行ないます。

*自動ソート
メモリーされたスケジュールは「月日時分」を比較してその日から近い順に並び替えられます。

(5)すべての入力が終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

※セット表示のまま2～3分すると自動的にスケジュールモードに戻ります。
※スケジュールモードのまま2～3分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

〈ご注意〉
・スケジュールをセットできるのはその日から(当日を含む)1年間です。〈今日が12月12日のとき、翌年の12月11日までセットできます。〉
・スケジュールは必ず「月日時分」を入力してください。月日が00月00日のときは、スケジュールとしてセットされません。

■スケジュールデータ修正

準備:データ入力時と同様に修正したいスケジュールデータのセット表示にします。

セット表示のとき、

Ⓛボタンで点滅を移動させ、正しく入れ直します



※データ修正後、Ⓒボタンを押します。

■スケジュールデータ消去

準備:データ入力時と同様に消したいスケジュールデータのセット表示にします。

セット表示のとき、

Ⓑボタンを約2秒間押します



→確認音が鳴り、スケジュールが消去されます。

※データ消去後、Ⓒボタンを押します。

6 計算機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときⒹボタンを３回押して、計算モードにします。

計算は置数、答えとも８桁（負数は７桁）で数式通りに計算できます。[+/M+]、[−/M−]、[X/MR]、[÷/MC]の各キーを押すとそれぞれ計算過程（＋、－、×、÷）が確認できます。

■基本計算

数式通りに操作できます。

例　題	操　作	表示窓
53+123−63=113	53 [+] 123 [−] 63 [=]	53. 176. 113.
2.3x6x5.2=71.76	2.3 [X] 6 [X] 5.2 [=]	71.76
89÷56=1.5892857	89 [÷] 56 [=]	1.5892857
963x(23−56)=−31779	23 [−] 56 [X] 963 [=]	−31779.
(56x3−89)÷5.2+63 =78.192307	56 [X] 3 [−] 89 [÷] 5.2 [+] 63 [=]	78.192307
123456x741852 ≒915億86080000	123456 [X] 741852 [=]	915.8608E 億の位 エラー

■定数計算

置数の後に[+/M+]、[−/M−]、[X/MR]、[÷/MC]の各キーを２回押すと、その数が定数としてセットされ（Kを表示）同じ数を使った計算が簡単にできます。

例　題	操　作	表示窓
12+23=35 45+23=68	23 [+] [+] 12 [=] 45 [=]	+K 35. +K 68.
7−5.6=1.4 2−5.6=−3.6	5.6 [−] [−] 7 [=] 2 [=]	−K 1.4 −K −3.6
2.3x12=27.6 4.5x12=54	12 [X] [X] 2.3 [=] 4.5 [=]	xK 27.6 xK 54.
45÷9.6=4.6875 78÷9.6=8.125	9.6 [÷] [÷] 45 [=] 78 [=]	÷K 4.6875 ÷K 8.125
17+17+17+17=68	17 [+] [=] [=] [=]	+K 68.
$(2.3)^4$=27.9841 (または“$(2.3^2)^2$”として	2.3 [X] [X] [=] [=] [=] → 2.3 [X] [=] [X] [=])	xK 27.9841

■メモリー計算

計算した数値を一時的に記憶させ、その値を計算に直接使うことができます。

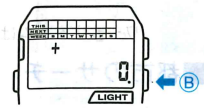
メモリーに数値を足すとき ——Ⓐ [+/M+]
メモリーから数値を引くとき ——Ⓐ [−/M−]
メモリー合計値を表示させるとき ——Ⓐ [X/MR]
メモリー合計値を消去させるとき ——Ⓐ [÷/MC]

※メモリーを使用するときは各キーを押す前に必ずⒶボタンを押してください。（“S”点灯）
※数値がメモリーされているときは“M”が点灯します。
※メモリー値はⒹボタンでモードを切り替えても消去されません。

例　題	操　作	表示窓
●合計計算		
80x9=720	Ⓐ [÷/MC] 80 [X/MR] 9 Ⓐ [+/M+]	M 720.
−) 50x6=300	50 [X/MR] 6 Ⓐ [−/M−]	M 300.
20x3= 60	20 [X/MR] 3 Ⓐ [+/M+]	M 60.
（中間合計）480	Ⓐ [X/MR]	M 480.
123+45=168	123 [+/M+] 45 Ⓐ [+/M+]	M 168.
（合計）648	Ⓐ [X/MR]	M 648.
●混合計算 (2x3)+(2x3)+4.5+4.5=21	Ⓐ [÷/MC] 2 [X/MR] 3 Ⓐ [+/M+] Ⓐ [+/M+] 4.5 Ⓐ [+/M+] Ⓐ [+/M+] Ⓐ [X/MR]	M 21.

■計算途中の訂正のしかた

計算途中に数字を押し間違えたときは、Ⓑボタンを押してから、正しい数値を入力します。



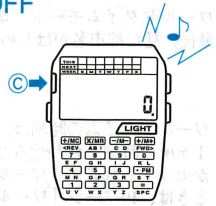
※Ⓑボタンを押すと、そのとき表示されている数値が消去され、それまでの計算に支障なく引き続き計算が行なえます。また、[+/M+]、[−/M−]、[X/MR]、[÷/MC]キーを押し間違えたときは、引き続き正しいキーを押してください。

計算が終わりましたら、Ⓓボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。
※計算モードのまま、７～８分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■操作確認音のON／OFF

計算モードのときに、

Ⓒボタンを押します



Ⓒボタンを押すごとに操作確認音のON/OFFが切り替わります。

※操作確認音…モード切り替え、計算時のキー操作など行なったときに鳴る電子音

7 ワールドタイムの使い方

ワールドタイムは世界25都市(海上地域含む)の時刻および世界標準時(GMT)の時刻を簡単に知ることができる機能です。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

+/M+ または ÷/MC キーを押します



→各都市の標準時を表示します。

※それぞれ押し続けると早送りします。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市名がはじめに表示されます。

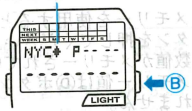
ワールドタイムの時刻は、表示される25都市のうち、ある1ヶ所の時刻を合わせると自動的にすべての都市での時刻がセットされます。ワールドタイムの時刻が合っていないときは、19ページ「ワールドタイムの合わせ方」を参照して時刻を合わせてください。
※なお、ワールドタイムの秒は、時刻・カレンダーモードでの現在時刻の秒に連動しています。

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓボタンを4回押してワールドタイムモードにします。

●サマータイムの設定

ワールドタイムモードのとき、

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます



→“◆”が点灯し、サマータイムでの表示*になります。

*サマータイムでの表示は、通常の時刻より1時間早まります。
※同様に、“◆”が点灯しているときにⒷボタンを約1秒間押し続けると、通常の時刻に戻ります。
※サマータイムは設定を行なった都市のみ有効です。
※“GMT”表示のときは、サマータイム設定はできません。

■ワールドタイムの合わせ方

表示される25都市のうち、1ヶ所の時刻を合わせると自動的にすべての都市での時刻がセットされます。

※ワールドタイムの標準時セット方法は、時刻・カレンダーモードの現在時刻セットと同様となります。

例) 都市コード“TYO”(東京)を午前10時58分にセットする

(1) ワールドタイムモードのとき、

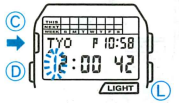
+/M+ または ÷/MC キーを押して“TYO”を表示させます



(2) セット表示にする

Ⓒボタンを押します

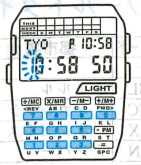
→10時台が点滅します。



※時刻が点滅しているときに、ⓁまたはⒹボタンを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。
押し間違えたときや、時刻を修正するときなどに便利です。

(3) 時刻セット

入力キーでセットしたい時刻を選びます



10時58分は、
「1058」と押します。

★午前／午後切り替え

時刻が点滅しているときに・PM キーを押します



→押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。

※時刻・カレンダーモードでの現在時刻を24時間制表示にしているときは(24ページ参照)、ワールドタイムの時刻も24時間制で表示されます。

(4) セット後、点滅を止めるには

Ⓒボタンを押します



※セット表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---		−11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	−10	パピート
ANC	アンカレッジ	− 9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	− 8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	− 7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	− 6	ヒューストン、ダラス、メキシコシティー
NYC	ニューヨーク	− 5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	− 4	サンチアゴ
RIO	リオデジャネイロ	− 3	サンパウロ、ブエノスアイレス
---		− 2	
---		− 1	アゾレス諸島
GMT		± 0	〈グリニッジ標準時〉
LON	ロンドン	± 0	ダブリン
PAR	パリ	＋ 1	リスボン、ローマ、マドリード、フランクフルト
CAI JRS	カイロ エルサレム	＋ 2	アテネ、ヘルシンキ、 ベイルート、ケープタウン
JED	ジェッダ	＋ 3	クウエート、ナイロビ
DXB	ドバイ	＋ 4	アブダビ
KHI	カラチ	＋ 5	
DAC	ダッカ	＋ 6	
BKK	バンコク	＋ 7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	＋ 8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	＋ 9	ソウル、平壌
SYD	シドニー	＋10	グアム島
NOU	ヌメア	＋11	ポートヴィラ
WLG	ウエリントン	＋12	クライストチャーチ

※この表は1995年11月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時(協定世界時：UTC)を基準としたものです。

8 アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓボタンを5回押してアラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせます。また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

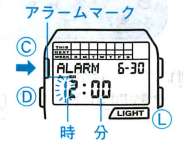
■アラーム時刻のセットのしかた

(1)セット表示にする

アラームモードのとき、

Ⓒボタンを押します

→“ ”マークが点灯し、10時台が点滅します。

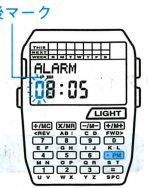


※アラーム時刻セット時に、ⓁまたはⒹボタンを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。

(2)アラーム時刻のセット

入力キーで、セットしたい時刻を選びます

例) 8時 5分…「0805」
10時55分…「1055」



★午前／午後切り替え

時刻が点滅しているときに、 PM キーを押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。

※時刻・カレンダーモードでの現在時刻を24時間制表示にしているときは（24ページ参照）、アラーム時刻も24時間制となります。

(3)セット後、点滅を止めるには

Ⓒボタンを押します

※アラーム時刻セットのまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

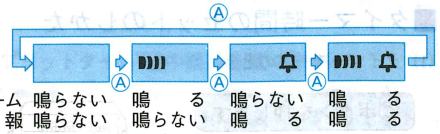
■アラーム／時報を鳴らすには

アラームモードのとき、

Ⓐボタンを押します

押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順に点灯／消灯をくりかえします。





※なお、Ⓑボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴り、アラーム音を試しに聞くことができます。

★鳴っている電子音を止めるには

ⒶⒷⒸⒹおよび入力キーのいずれかを押します。

9 タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓボタンを6回押してタイマーモードにします。

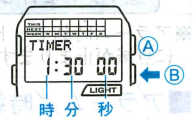
タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子音が鳴ります。

■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

Ⓑボタンを押します

減算計測を開始し、残り時間を1秒単位で表示します。

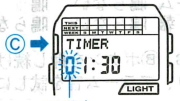


※計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓑボタンを押して計測ストップ後、Ⓐボタンを押します。

■タイマー時間のセットのしかた

(1) タイマーモードのとき、

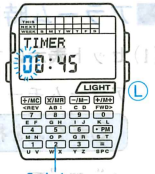
Ⓒボタンを押します



→10時台が点滅します。

(2) タイマー時間のセット

入力キーで、セットしたいタイマー時間を選びます



例) 45分……「0045」
2時間30分……「0230」

※タイマー時間セット時に、ⓁまたはⒹボタンを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。
押し間違えたときや、修正するときなどに便利です。

(3) タイマー時間のセットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

※タイマー時間セットのまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

●リピートタイマーとオートリピートタイマー

本機のタイマーは、使い方に応じてリピートタイマー（繰返し計測）とオートリピートタイマー（自動繰返し計測）を選ぶことができます。

・リピートタイマー（繰返し計測）	・オートリピートタイマー（自動繰返し計測）
残り時間が0になると、計測前にセットした時間を表示します。同じ時間を何回も計測するときに便利です。	残り時間が0になると、続けて計測前にセットした時間の減算計測を繰返し行ないます。
スタート スタート スタート	スタート

★タイマー方法の選び方

タイマーモードのとき、

Ⓑボタンを押します



Ⓑボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマー（“⧗”点灯）が切り替わります。

●鳴っている電子音を止めるには

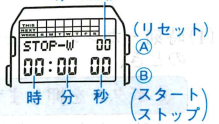
ⒶⒷⒸⒹボタンまたは入力キーのいずれかを押します。

10 ストップウオッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓボタンを7回押してストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた



●通常計測

Ⓑ → Ⓑ → Ⓐ
スタート ストップ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

計測中にⒶボタンを押すと「スプリットタイム計測」となり、以下のような計測も行なえます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓑ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓐ
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2着のタイム計測

Ⓑ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓐ → Ⓐ
スタート 1着ゴール（1着タイム表示） 2着ゴール 2着タイム表示 リセット

11 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの調整

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒボタンを押します



→「秒」が点滅します。

(2)時報に合わせて

0 キーを押します



→00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒からスタートします。
※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)点滅を止めるには、

Ⓒボタンを押します

※秒セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒボタンを押します



→「秒」が点滅します。

(2)時刻セット表示にする

Ⓛボタンを押します



→10時台が点滅します。

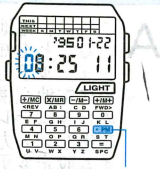
★12／24時間制表示切り替え
時刻セット表示のとき、Ⓑボタンを押すごとに12時間制表示(午前A／午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

※時刻セット時に、ⓁまたはⒹボタンを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。
押し間違えたときや、時刻を修正するときなどに便利です。
なお、いずれも押し続けるとそれぞれ早送りします。

(3)時刻・カレンダーのセット

入力キーで、セットしたい時刻・カレンダーを選びます

例) １９９５年１月２２日
８時２５分のときは、
「０８２５９５０１２２」
と押します。



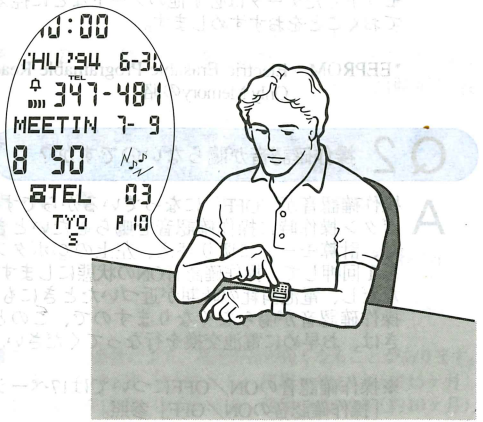
★午前／午後切り替え
時刻が点滅しているときに、• PM キーを押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。

(4)セット後、点滅を止めるには

Ⓒボタンを押します

※セット表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

・カレンダーは1995年1月1日から2094年12月31日までセットできます。なお曜日は、年月日を合わせると自動的にセットされます。
・カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。



Q1 どうして電池が消耗してもデータが保持されるのですか？

A データメモリー部に、メモリー保持のための電源を必要としないEEPROM*を使用しているからです。
ただし、このメモリー部に対して、極度の静電気や衝撃を与えたり、極端な外的環境下（特に低温下）で使用した場合、データが変化したり、消えてしまったりすることがありますのでご注意ください。
セットしたデータは必ず他のノートなどに控えておくことをおすすめします。

*EEPROM＝Electric Erasable Programable Read Only Memoryの略

Q2 操作確認音が鳴らないのですが？

A 操作確認音が“OFF”になっているからです。ボタン操作時に操作確認音を鳴らしたいときは、計算モードに切り替え、左上のⓒボタンを1回押して、操作確認音ONの状態にします。ただし、電池消耗の時期が近づいたときにも、操作確認音が鳴らなくなりますので、このときは、お早めに電池交換を行なってください。

※操作確認音のON／OFFについては17ページ「操作確認音のON／OFF」参照。

Q3 すべてのスケジュール予告が点滅しているのですが？

A これは、電池容量が減り消耗時期が近づいていることを知らせる合図です。すべてのスケジュール予告が点滅をはじめたときは、お早めに電池交換を行なってください。なお、このときはテレメモ、スケジュールデータの呼び出し／入力、ワールドタイムでのサマータイム設定変更およびライト点灯、時刻アラーム・時報、操作確認音の報音は行ないません。

Q4 電池交換はどこで行なえば良いですか？

A 電池交換は、本機をお買い求めになった販売店、または本書巻末に記載のカシオサービスセンターにお申し付けください。
むやみに裏蓋を開けたり、電池交換を行なったりすると、入力したデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

製品仕様 ※仕様およびデザインは改良のため予告なしに変更することがあります。

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時・分・秒・年・月・日・曜日
スケジュール予告、フルオートカレンダー（1995～2094年）
テレメモ機能：名前と電話番号などを最大80件までメモリー
スケジュール機能：1年間のスケジュールを最大80件までメモリー
内容＝メッセージ、月日時分
2週間分のスケジュール予告付
※メモリー件数は、テレメモ、スケジュール双方のデータを合計して80件までとなります。
計算機能：8桁加減乗除、四則定数計算、独立メモリー1組、計算状態表示、操作確認音ON／OFF
ワールドタイム機能：世界25都市（海上地域を含む）の時刻、世界標準時（GMT）の時刻を表示、サマータイム設定機能
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知
タイマー機能：セット単位＝分　電子音＝10秒間
計測単位＝1秒、計測範囲＝24時間
計測機能＝通常計測、ロスタイム計測、オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1／100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、ELバックライト、12／24時間制表示切り替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS - LSI、EEPROM
使用電池：CR - 2016（電池別途販売）
電池寿命：約2年

時刻／スケジュールアラーム	各20秒／日
ライト	1.5秒／日 使用した場合

●ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
1日当たり7.5秒（1.5秒×5）使用→約1.3年（約15ヶ月）
1日当たり15秒（1.5秒×10）使用→約0.9年（約10ヶ月）

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

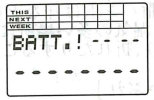
※電池交換の場合は保障期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として、どのモードのときでもスケジュール予告がすべて点滅します。
また、このときテレメモ、スケジュールなどでデータの呼び出し、データ入力などの操作を行なうと、“BATT.！”が表示されます。このときは速やかに電池交換を行なってください。

スケジュール予告





(テレメモモードのとき)

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池の消耗時期が近づくと…

メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくなるなど、以下の現象が現われます。

〈テレメモ／スケジュールモードのときは〉
データ呼び出し、入力などの操作はできません。
（ボタン操作をしても、“BATT.！”を１～２秒間表示し、空ページ表示となります）
なお、データ入力途中に電池が消耗すると、そのとき入力していたデータは記憶されません。

〈ワールドタイムモードのときは、〉
サマータイムの設定変更はできません。

〈その他〉
スケジュール機能（スケジュール報知、予告表示、自動消去）は行ないません。また、アラーム・時報タイマー・操作確認音の報音、ライト点灯も行ないません。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

■お客様へ

電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ

本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は
電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換前のご注意
裏蓋を開けたときに、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されているときは、電池を抜き取らず、裏蓋を閉じ、しばらくしてからあらためて裏蓋を開けるところから行なってください。なお、“◇CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データ内容が変化したり消えてしまうことがありますのでご注意ください。
※表示が消えているときは問題ありません。

●電池交換後のご注意
電池交換後、裏蓋を閉める前に、必ず、オールクリアー（AC）操作を行なってください。
※オールクリアー操作を行なっても、データが消えることはありません。

●電池交換のご注意
裏蓋を閉めたあと、約15秒経過しても表示が正常に戻らないときは、もう１度裏蓋を開け、オールクリアー（AC）操作を行ってください。

オールクリアー操作を行なうと、内部のデータをチェックするために“◇WAIT”と表示されます。入力されているデータ数により、最大12分間かかることがあります。なお、“◇WAIT”表示のときには、時刻修正（24ページ）は行なえますが、それ以外の操作はできませんのでご注意ください。内部でのデータのチェックが終わると、正常に使用できます。

